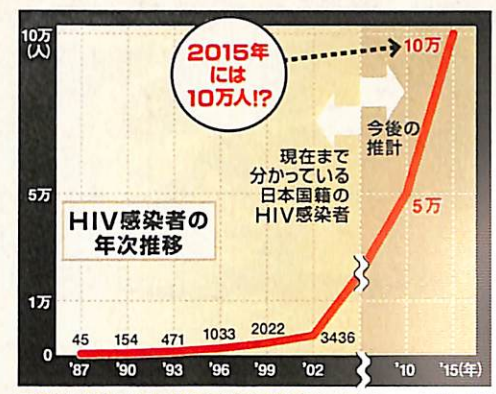


GO! GO! HIV/AIDSの今冬 2003

パトリック特別版 不定期シリーズ特集



実際には把握されている数の5倍の感染者がいるらしい。とすると現時点で1万5000人。'10年の5万人はあながち正しい数字ではない

12月1日は世界エイズデーだった。多くの人がとって、HIVは他人事だろう。しかし、'01年、'02年ともに日本の新規HIV感染者は'90年代の2倍の600人以上。今年も同じペースで伸び続けている。HIV感染は確実に拡大しているのだ。また、先進国でAIDSが増えているのは日本だけ。なぜ日本のHIV/AIDSは減らないのか？

そこで、実際に感染者の増加率を減らし、AIDS患者を格段に減らしたHIV先進国アメリカが、どのような手法でHIVに対応してきたのかを探るためパトリックがアメリカへ飛んだ。前編ではHIVに感染して16年、さらに10年間SPAIで連載をしていたパトリックならではの視点で、日本がアメリカから学べることをレポートしてもらおう。後編では今後日本のHIV感染拡大の鍵になる高校生、大学生、20代前半の若者たちのHIVへの意識と性行動を探り、そこから浮かび上がる問題を探った。



前編 合法売春宿、AVの健康管理団体、教育委員会...etc.パトリックが現地直撃レポート! HIV先進国アメリカで今何が行われているのか!?

新たに感染する人を激減させたロサンゼルス。どうやって?

自分の感染を知っている人 HIV人口のうち10~20%

自分の感染を知っている人 全米で65%。ロスでは85%

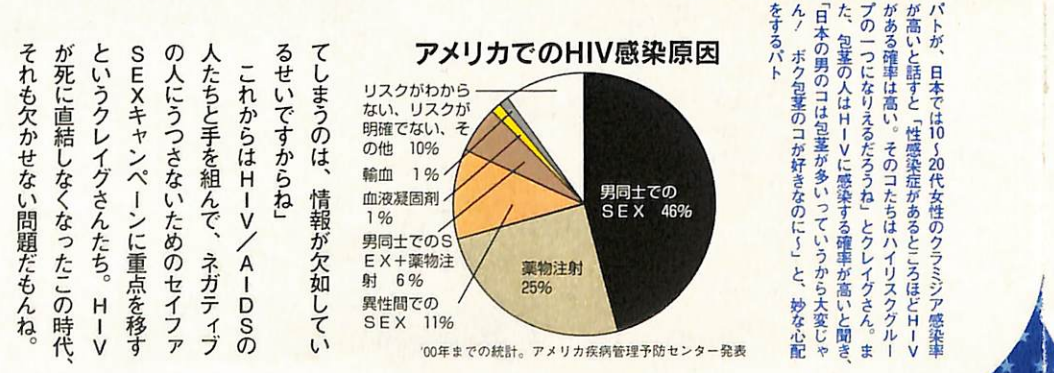
アメリカでは、'00年現在で60万人のHIV感染者、40万人のAIDS患者がいると発表されている。この100万人には「隠れ感染者」つまり、HIVに感染してはいるけど、検査をしていないから自分では感染していることを知らない人も含まれているんだ。検査率の高いアメリカの場合、隠れ感染者は少ないと思うんだけど? 全米2位の規模を誇るエイズNPO「エイズプロジェクト・ロサンゼルス」のクレイグ・トンブソンさん、教えて!

「疾病管理予防センターは、平均的な街(日本でいう県庁所在地のような所)で、自分がHIV/AIDSだと気づいていない人は、35%と発表していますが、ロスのような大都市では15%程度です」

「ワオ! 日本では80~90%が隠れ感染者って言われているのに、アメリカは真逆だね。さらにロスがスゴイのは新規感染者が激減したこと。10年前までは毎年1万2000人増えていたんだけど、それが2200~2500人にまで減ったんだから!」

「ピークだった'88~'89年に、私たちは感染するリスクが高いグループを見つけ、そこへ向けて集中的に検査と感染予防のキャンペーンをしたんです。そのグループとは、西海岸ではゲイとバイセクシュアル。東海岸では、ドラッグ常用者で注射の回し打ちをする人や、ドラッグをしてSEXする人たち。また、広く一般の人たちの知識や意識を高めるために、学校教育などを通じて、あなたもとても危険だ!というキャンペーンもしました。同時に、HIV/AIDSに対する差別や偏見をなくす環境づくりも。その環境がないと、偏見を受けた感染者がアウトローになってしまっって、ハイリスクグループへ逆戻りですからね」

それらの成果は、わずか2年後の'91年、年間の増加人口が現在と同じレベルにまで激減したこと



表れたつーから、また驚き。「ここまで感染者を減らすことができた大きな要因は、私たちがキャンペーンで流した情報にあると思います。私たちは予防法だけではなく、HIV/AIDSの周辺にあるセクシュアリティ、SEX、ドラッグ、お酒、躁鬱といった情報も流しました。誰もが、どうしたら感染するのかわかっているのに、リスクキーな行動を取って感染し

「ここまでは感染者を減らすことができた大きな要因は、私たちがキャンペーンで流した情報にあると思います。私たちは予防法だけではなく、HIV/AIDSの周辺にあるセクシュアリティ、SEX、ドラッグ、お酒、躁鬱といった情報も流しました。誰もが、どうしたら感染するのかわかっているのに、リスクキーな行動を取って感染し

日本が学ぶべき3か条

ハイリスクグループを明確にすべし

キャンペーンは対象を絞り込んで大規模に

HIVと関係するリスク行動も喧伝すべし

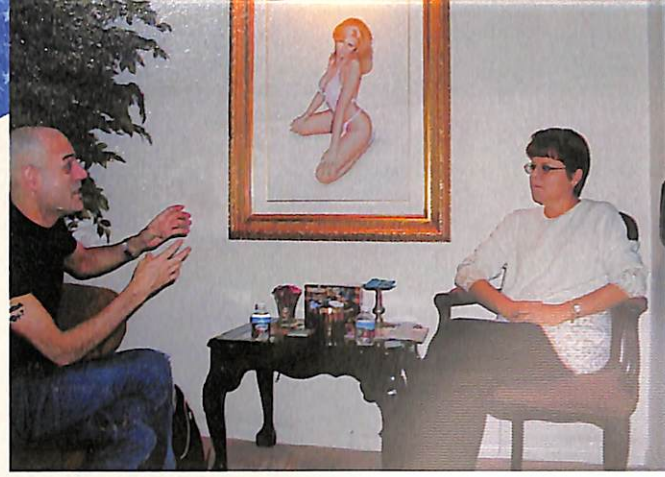
売春を合法化し、徹底した リスク管理をしているネバダ州

援助という名の素人売春から
生ありの風俗まで売春大国

100%コンドーム使用で
法的、衛生的、肉体的に安全

ネバダ州はアメリカで唯一、
売春が合法化されていると
ころ。70年代初めに法律が作られ、
人口が40万人以上の郡では認めら

「1年間で買ったばかりの家のローンを完済
したコもいます」とマダムの子ビビさん



れていないんだ。今は14の郡で売
春が合法だけど、路上売春はNG。
ラスベガスから、最も近い売春
宿「チキンランチ」を目指して、
車を走らせること1時間半。宿を
仕切るマダムのデビー・リーベン
バーグさんに、まずは宿で働く女
のこたちの「下半身の健康管理」
について直撃しました！

「ウチには、カリフォルニアやN
Yからも働きにくるコが多く、ス
タッフがラスベガスの空港に迎え
にいったり、まず彼女たちを3時
間以内に保健所へ連れていきます。
そこで血液検査をし、HIVを含
む一切の感染症の有無を調べま
す。その結果が出るまでの間は宿
で待機し、結果がクリアだったら
保安官のオフィスで指紋と写真を
登録して働き始めます。法律で、
売春宿で働くには検査を受けるこ
とが義務づけられているんです」
ギョエツと驚くのはまだ早い
よ。10日間単位で働くシステムに
なっているチキンランチでは、働

きだして1週間後に医者の内診を、
30日以上働いているコの場合は、
再検査を受けなければならぬ。
それから、ここに居る間は、外出
禁止なんだって。24時間以上売春
宿から出てた場合は、検査も登録
も初めからやり直し。こっそり彼
氏に会って、プライベートのSEX
Xで感染したウイルスを宿へ持ち
込まないためなんだって。合法化
すればここまで徹底できるんだね
。当然のように、コンドームの
使用も法律で決まっています。

「体液を交換するようなプレイに
は、コンドームもしくはデンタル
ダム(シネックスでできたシート)
を必ず使わなくてはけません。
つまり、生の男性器が女性器に触
れたり、直接、性器に口を付けた
りすることは一切ありません」
「といっても、生でヤラせろ〜/
っていう客はいるんじゃない？
ここで働いているトレイシーとブ
リジットに聞いてみると……」
「何度か、コンドームを使わな
くてもいい？と聞かれたことはあ
るけど、私が断ると、ほとんどの人
は素直に納得してくれる。自分の
仕事道具はおろか、命そのものを
ムダにするようなことは絶対にし
たくない。無理を言われたら部屋
にある緊急ボタンでスタッフを呼
びます(トレイシー)」
「1万ドルと言われても断る。大



写真左がトレイシー、右がブリジット。何を
するか、いくらでするか、すべて客と女の
コとの交渉で決まり、半分を宿が取る。1年
のうち1週間とか1か月などを短期に来る女の
コが多く、滞在中は食費と部屋が宿から提供
される。去年1年間に働いたコは約1000人

金を手にしても、数年後に死ぬく
らいならいらないわ(ブリジット)
さらに彼女たちは自分の身を守
るべく、客の
アソコを見て
病気の有無を
判断できるよ
う勉強してる。
ヤバイ客には
「経験上、医
者へ行くこと
をお勧めしま
す」と。SO
COOL!

日本が学ぶべき3か条

世に売春がある事実
から逃げず受け止める
働くコたちにHIVと
感染症検査を義務化
100%コンドームの
使用を徹底させること

アメリカのAVは生が基本。 しかし性感染症発生率は低い

女優は性感染症が職業病。
女優に検査義務はない

出演者だけでなく関係者も
すべて検査結果を公開

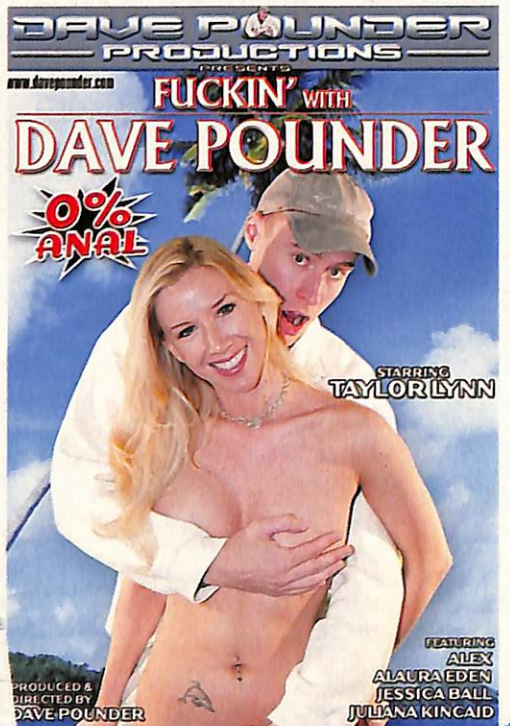
最 近の、アメリカ売れ筋AV
は、一つのジャンルに2つの
ペニスを入れる「Wアナル」もの
や、一人に何人も人が顔射する
「BUKKAKE」系(注:アメリ

カでも「ぶっかけ」と発音するん
だよ。基本スタイルが生なうえ、
そんなハードなプレイを強いられ
る女優・女優さんのHIVや性感
染症に感染するリスクはすんごく
高い。どうして生

が基本かかってい
と、ヨーロッパの
AVも生が基本だ
から、コンドーム
を着けたAVは売
れなくなっていま
うんだって。
実際、'98年ころ
AV業界でHIV
の感染拡大が問題
になったことがあ
った。そのとき立
ち上がったのが、
元女優のシャロン
・ミッチェルさん。
生でやらなきゃ
いけないなら、き
ちんと検査をしよ
うってことで、彼

女はAVの制作会社やタレントの
90%が集まるロス北部にアダルト
・インダストリ・メディアカル(A
IM)という非営利団体をつく
ったんだ。平たく言えば、AV業界
の健康管理団体だね。
「タレントは月1回、HIVと性
感染症の検査を受けて、撮影時
には必ず制作会社に検査証明書を見
せるルールを作ったの。ただ、個
々に検査を受けてもらっても、検
査をした医者には守秘義務がある
から、結果を教えてもらえない。
そこで、検査窓口を団体内に作っ
て、結果をデータ管理するように
したわけ。今や、ほぼ100%の
制作会社が検査証明書の提示を求
めるから、タレントもほぼ100
%、ウチに登録しているのよ」
全米で、AIMとネットワーク
で結ばれている団体は40か所ある
から、ロス以外に住むタレントも
登録可能。もし、何かしらの性感
染症にかかっていることがわかっ
た場合は、本人に薬を渡し、完治
するまで出演しないことをポリシ
ーにしよう。

「200作以上に出演したけど性
感染症には一度もかかってない」
と言っるのは、AIMに登録して
いる女優のタリスンさん。AVブ
ロデューサー兼女優のデイブさん
も「AIMのおかげで、性感染症
にかかるリスクはほぼない」って
じゃあ、HIV検査でポジティブ
だったら、どうするのシャロン?
「ストレートのAVに出演しない
ことを勧めているわ。女優に限っ
てだけど、コンドームの使用率が
80%以上のゲイのAVに転向する
ことも勧める。セーフSEXが
できれば、ポ
ジティブでも
問題ないでし
よ。とはいえ、
残念ながらほ
とんどのプロ
ダクションは、
感染者を使う
リスクを負わ
ないと思いま
す」



Crazy Fun College Sex That'll Make Your Girlfriend Want To Fuck You!

プロデューサー兼女優、デイブ・パウンダー氏の出演作
女優のタリスン氏。最近では出演よりも脚本、監督業がメ
イン。アメリカでは恋人同士や夫婦でAVを見ることも多い



日本が学ぶべき2か条

AVタレントに、月1回
ペースでHIVと性感染
症検査を徹底せよ
制作会社は検査データの
提示を求め、業界内での
病気になるまで

アメリカ初、HIV教育を強化した、カリフォルニア州の試み

アメリカでは基本的に州が教育方針を決めて、郡が実施してんだ。だいたいどの州が性教育を義務化もしくは推奨してんだけど、今回ボクが行ったカリフォルニア州は、HIVや性感染症を教えなさいって法律だけじゃなくて、教育をした証拠を出ささいっていう法律を作ったの。施行されるのは来年の1月1日からだけど、どんなHIV教育をするのか、カリフォルニア州教育委員のHIV教育担当者に話を聞きました。

「具体的にどういう指導法を取るかは郡や地域によって違いますが、カードやOHP、本などを使って、HIV、性感染症について病気の仕組みや免疫システムなど、基本的な知識を教えます。さらに、自分たちの行動のなかでのリスク、友達からの誘いに「ノー」と言う力をつける訓練、コンドームを使うタイミングなど、一人一人の行動の取り方を教えることがポイントになっています。また、親の世代がきつちりとした性教育を受けていないので、家に帰って親と話さうという宿題もあるんですよ」

「すごいシステムだと思っけど、今までやっていない学校がいきなりやるのは大変じゃない？」

「そのため、いろんなバリエーシ

ョンのマニュアルを作り、学校に参考にしてもらうようにしています。マニュアルの内容は、教育プログラムの作り方、プログラムの例、教師のためのHIV教育、学校以外のコミュニティや団体の使い方。そして州がチェックする前に、学校が自分たちでHIV教育が足りているかチェックする自己管理のやり方などです」

HIV感染者を学校に呼ぶ「ボジティブ・スピーキング」っていうプログラムもあるんだけど、講堂でみんなが聞くじゃなくて、クラスごとに少人数でコミュニケーションするんだって。しかも、生徒たちと話す人は、まず地域の教育委員会で、どんなことを話すか、話してはいけないことは何かという訓練も受けるんだよ。

「一番重点を置いて言うことは、自分を100%守る方法は、SEXをしないこと」です。以前は性教育をするときSEXを助長してしまつて言われましたが、現在では95%の親が学校での性教育が大切だと思つているという研究結果がありますし、実感として、性教育によって生徒たちの性行動が早まる可能性は減ると思います」

「そう、自分を守るのには、自分しかないんだからね！」

避妊、病気予防は当たり前前。大人のオモチャ感覚になってきたコンドーム

日本人がコンドームを使う一番の目的は、避妊なんですよ？ その感覚、かなり古くない？ コンドームを使えば避妊できることなんて、初体験のときから知つてはいます。HIVや性感染症の感染予防になることも、もはや常識。目的の一つも今は常に新しくないと面白くない！

今アメリカでは、コンドームが気持ちいい、楽しいっていう、大人のオモチャ感覚で使われてるんだ。2年前に発売された、あるコンドームがきっかけ。

「それは「エクステンデッド・プレジャー（長く喜び）」という商品です。ヒットしたポイントは、その名の通り、早くイかないようにコンドームの中に、感覚を鈍感にさせるジェルを入れたことです。これが爆発的に売れたため、コンドームに対する消費者のニーズが、自然とオモチ

ャ的な要素に変わってきました」と言うのは、コンドームショップとして有名な「コンドマニア」のアダム・グリックマン社長。このコンドームが生まれたのは、歯が痛いときに歯茎に塗る感覚麻痺剤が市販されているアメリカならではのこともかもしれないけど、それ以降、オモチャ要素の高いコンドームが続発！

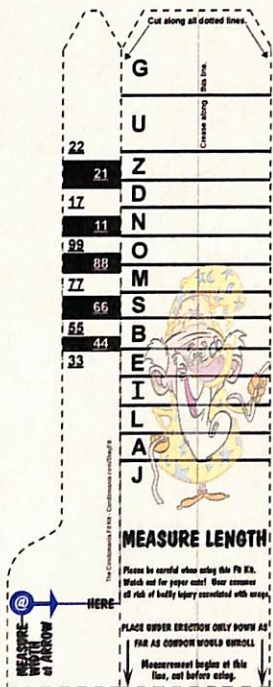
例えば、亀頭部分が風船のようにふくらんでいて、女性の中での摩擦を大きくするもの。根元のほうがリブ編み状で、その凹凸がクリトリスを刺激するものなど。いずれも、彼女のために、っていうコピーが、売り上げを伸ばしたらしいよ。

で、最新のヒット商品が「ゼイ・フィット」。なんと、55種類もサイズがあるの！

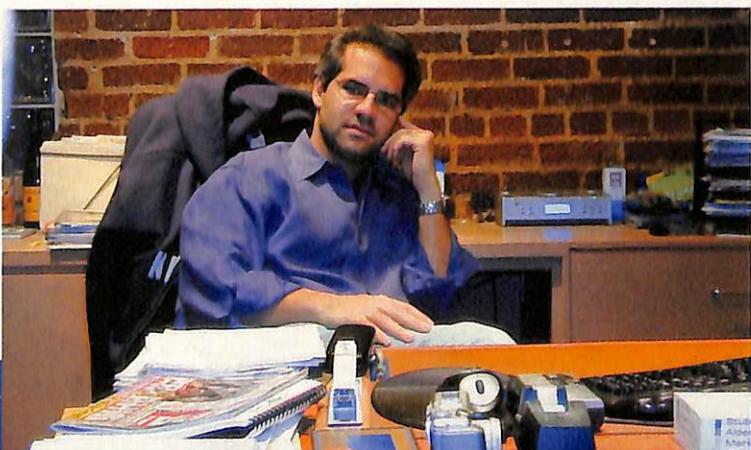
「アメリカ人のペニスは平均13〜15cmなのに、コンドームは平均18〜20



左のシートで太さ(数字)と長さ(アルファベット)を測る。写真は、ゼイ・フィットで一番大きいものと小さいもの。真ん中のピンク色は標準サイズの他商品



コンドマニア社長のアダム氏。商品購入は同社サイトで(日本のコンドマニアは無関係)



cm。平均サイズの人でさえフィット感を得られなかったんです」

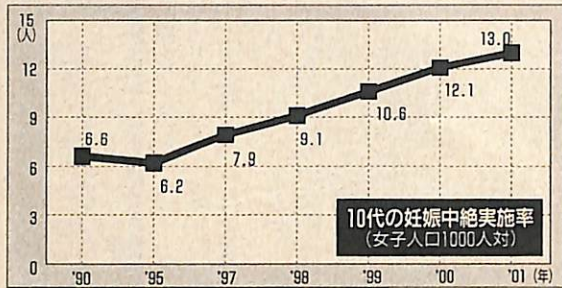
これは太さと長さでサイズを選んだけど、例えば誰かに箱を見られて自分のサイズがばれちゃったらいやでしょ？ これは大きさも長さもcm単位じゃなくて、ランダムな数字かアルファベットの表記なの。大中小とかって書かれてないから、ブランドが傷つかないんだよね。頭いい！発売1か月ですべてのサイズがよく売れ、大反響つても納得だよ！」

2010年には5万人を突破!? 先進国で唯一AIDSが増え続ける日本のそら恐ろしき現状とは!?

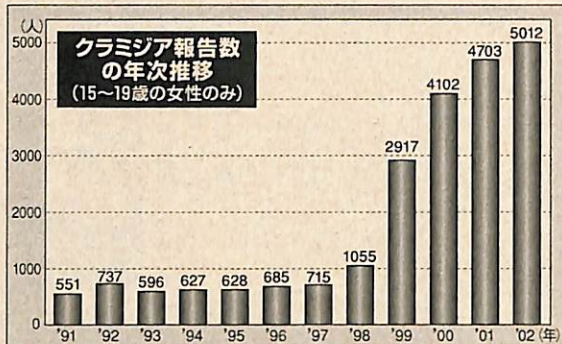
何もかも遅れている日本のHIV対策、これでいいのか!?

10代の性行動が、日本の感染爆発の鍵になる!

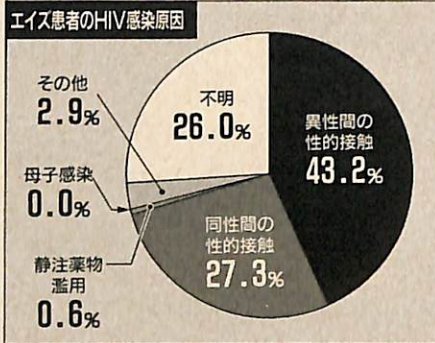
「HIV感染の妊婦増加」という11月25日付朝日新聞の記事を読んで驚いた人は多いだろう。99年以降、妊娠時の検査でHIV感染が



妊娠中絶が増えるということは、望まない妊娠、つまり避妊の失敗が増えたということ。コンドームを使っていない証拠の一つといわれ、ほかの世代では減っているのに10代だけが増えている (厚生労働省母体保護統計より)



'99年3月までは「性病予防法」に基づき、4月以降は「性感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく届け出なので、'99年の前と後では報告に関わる届け出医療機関の数と質が異なる。しかし、10代後半のクラミジア増加は間違いなく (厚生労働省感染症発生動向調査より)



同性愛者コミュニティのほうで検査率が高いこともあり、HIV感染の原因では同性間の性的接触が1位になるが、AIDS患者の中では逆転して異性間の性的接触がトップ



木原正博氏

京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻社会疫学分野教授。日本のHIV/AIDS疫学研究の第一人者。医学、社会学も兼ねた学際的な「エイズ予防学」を確立



赤枝恒雄氏

赤枝六本木診療所院長、産婦人科医。カフエでの健康相談やクラブでの無料HIV検査、避妊に失敗したときの保証付きコンドーム配布など若い世代の性感染症予防活動を積極的に行う



山元泰之氏

東京医科大学臨床検査講座講師。血液病など血液病が専門で、88年よりHIV感染症の診療に従事。実感として増えています。患者増加に医療が追いつかない」と警鐘を鳴らす

発感染があると研究者は警鐘を鳴らしているが、その予兆を知らせているかのようで、正直怖い。「そのコノ背中には、すでにAIDSを発症していることを示すカポジ肉腫がたくさんできています。21歳のOLで、それまで感染していることは知らなかった。初体験は14、15歳だったそうです」

これは、産婦人科医の赤枝恒雄氏から聞いた実話。

夜遊びや不摂生な生活は体の免疫力を弱め、AIDSの発症を早める。通常、何の治療もしない場合、感染から10年くらいで発症するといわれているが、先のOLの例では感染から4、5年で発症しているのだ。さらに、若年層での性感染症も問題になっている。「クラミジアに感染していると、HIVに感染する確率は2、5倍、HIVにとって格好の侵入環境なんです。ヘルペスなど潰瘍がある状態では、女性の場合で5、300倍といわれています」と言うのは、

京都大学教授・木原正博氏。'02年末までの日本人HIV感染者は累積で3436人。しかし、実際にはこの5倍の感染者

がいますと木原氏は推測する。「AIDS患者の検査率を調べたところ、発症前に自分の感染を知っていた人は約2割でした。これまでの国内動向を踏まえると、'06年に日本人のHIV感染者は2万2000人、'10年に5万人、'15年には10万人と予測しています。しかし、国連が予測するように、'10年にアジア圏での感染爆発があれば、その余波が日本に来ることは必至です。となると10万人では済まないでしょう」

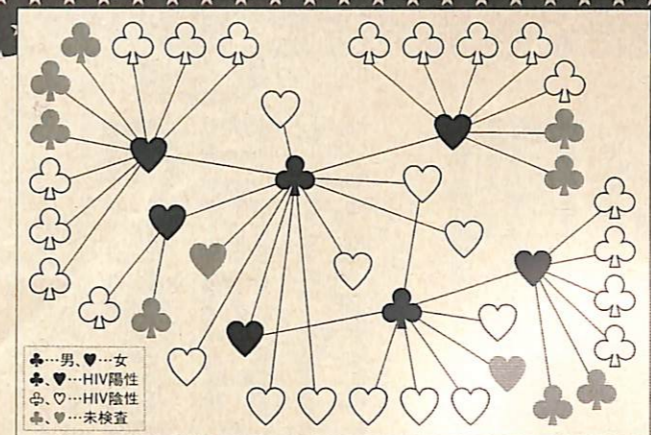
初体験の低年齢化、性感染症の蔓延、コンドームなしのSEXと、若者世代にHIVが広まる条件が出揃ってしまった。未来を背負う彼らの多くがHIVに感染してしまつたら? HIVの治療費で健康保険制度は破綻し、ボクらの年金はさらに削られ、少子化はますます進み……なんていう最悪の事態が待っているらどうか? そこでSPA!は高校生・大学生を含む15、25歳の男女3000人にSEXとHIVに関する意識調査を行った。そこから、現状打破の糸口は見つかるだろうか!?

アンケートから浮かび上がる 若者たちの「危険」なSEX観

高校生、大学生、フリーターを含む25歳までの社会人、それぞれ100人ずつに聞いた。またSEXの経験がない人が3分の1。この「他人事」感若者世代に限ったことではないが……

決まった相手としかSEXしないから、感染の可能性はゼロである……107人

誰でも、事後的な状況によるHIV感染の可能性はゼロではないが、あくまでもこれは「今のあなたの性生活の中で、感染する可能性は？」と聞いた結果である（107人中、高校生45人、大学生29人、社会人33人）。1%以上ある、と答えた残りの人たちは、すみやかに検査に行くべきだが、この107人の感染の可能性は本当にゼロかというところだ。



性的ネットワークとHIV感染
アメリカ・ミシシッピ州のある町における性的ネットワークとHIV感染。1人の男性が、12人の女のコと関係を持ち、ダイレクトに4人に、間接的に1人以上に感染させた

「不特定多数としてのわけじゃない」「相手は身元の知れた恋人」「だから安全だ」と言っていたのだから、それは思い込みである。仮に、真剣に付き合っていたとしても、1〜2か月で出会いと別れを繰り返していたら？ 2か月ごとに恋人が代われば2年で12人。もはや不特定多数と同じなのだ。上の図をご覧あれ。これは、アメリカ・ミシシッピ州のある町でHIV感染が問題になったときに調べられた感染経路図だが、前出の木原氏は同じことが日本のごく普通の若者の間でも起きているという。

**コンドームを
使わないでSEXを
することがある
……55%**

これはSEX経験者で、現在、子づくりに励んでいない人のみを対象にした結果。細かく見ると、

は特定の人ではない場合もありま。また、コアになる人と直接関係していても、人から人へとネットワークは拡大しますから。この図で言えば、一番外側にいる1人の後ろには41人がいるという。過去に一度も性感染症にかかったことがない「周りにHIVに感染している人はいないから」という理由で自分の感染確率も低いと答えた人が合わせて101人いたが、それは単にラッキーだったと思っただけかもしれない。

「たまに使わない」が31%、「使用率は半々くらい」が13%、「ほとんど使わない」が6%、「まったく使わない」が5%。

使わない理由の1位は「そのとき持っていなかったから」（60人。複数回答、以下同）。次いで「生の方が気持ちいいから」（48人）、「着ける手間が面倒くさい」（25人）だったことが、いかにその場のノリに流され、使わない傾向に走りやすいかを示している。

木原氏は、こう指摘する。「若年層において、コンドームの使用率は不定期の相手とSEXする場合で低く、相手の数が多いほど、使用率が低い」

いわゆる「遊び人」ほど、HIVをはじめ、性感染症への予防意識が低く、無防備だということ。アメリカでは全く逆なのだが……その感覚について、HIVの治療にあたる山元泰之氏はこう言う。「厚生労働省の報告で、『感染原因不明』という数字がありますね。



学校で、HIV/AIDSについて教わったのは1〜2回だけだった……74%

パトリックのアメリカ・カリフォルニア州では、HIVや性感染症について教えることが州法で定められている。来年からどんな教育をしたかの証拠提出までが義務づけられる。その事実を踏まえると、この結果が余計に悩ましい。さらに「教わった覚えがない」と答えた人が全体で74%もいた。

そこで、日本の性教育事情について、文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課の専門官・大竹輝臣氏に聞いてみた。「文科省が提示している学習指導要領には、保健体育の授業の中で、性教育の時間を設け、そこで性感染症やAIDS、薬物濫用のことなども教えてください」と記して

います。しかし、授業数を決めるのは各都道府県および市区町村の教育委員会と学校なんです」

平成5年から、エイズ教育推進地域を指定するようになった。現在、千葉県松戸市や、東京都墨田区など40地域。その地域の公立の小・中・高校の中には、各自立性と学校によって決められた性教育のモデル校が存在する。そこでは具体的に、どんな試みがなされているんだらう。

「一つは地域との連携。HIV/AIDS治療の拠点病院や、予防啓発に熱心な保健所がある地域では、医師や保健師が講師として学校にいたり、逆にそこへ生徒たちを連れていたり。また、AIDSをテーマにして、保護者と一緒に考える会や、子供たちだけに

よるディスカッションなど。文化祭の発表テーマに、AIDSを取り入れたケースもあります。文科省では、教師向けに研修会やセミナーを開いています。社会に出る

と総合的にHIVの学習をする機会が減りますから、学校が性教育のラストチャンスなんです」

モデル校での取り組み内容は厚労省の指導ではなく、学校と地域独自の連携プレー。

が、モデル校からの報告書は届いていない。その結果評価と、評価をどう反映していくかという計画は、これからの課題だ。

木原氏の研究班が独自に行った子防介入研究では、地域キャンペーンとモデル校が、知識、コンドーム使用意図、行動変容に効果があり、寝た子を起すこともないとはっきり示されている。文科省も、せっかく10年間も続けていることだから、モデルプランを一つにまとめて、推進地域以外の学校教育に早く反映させてほしいものだ。

AV・風俗業界の、 不気味さすら感じ る無頓着ぶり

2000人以上に出演したAV女優（28歳）は、「生本番は1〜2度しかなかった。日本のAVは基本的にコンドームを着けてますよ」と言うが、フェラチオはすべて生。コンドームを着けるタイミングが悪いのか、ほとんどの女優が性感染症とは腐れ縁なのだという。

さらにHIVに関しても、「先輩女優から『生本番して不安なときはソソグを尿道にプツッかける。洗ったという気持ちでなるとかかなる』と言われた」という程度の認識しかないようだ。「生本番の撮影前に女優は血液検査などをし、女優の所属するプロダクションに提示するのが慣例。でも、女優は検査しな

自分の行動の中でどの部分が危険かということがわかっていないんですよ。生でアナルは危険みたいだけど、これくらい平気だろう、と。また、SEXで感染することを知っているのに、自分が生でSEXをするときはその事実を無視しようとする。でも、もし自分が感染したら、という話をすると、感染がわかったら誰ともSEXしない、と言いつつ自信家が多い。現実には、感染告知を受けた数日後に、SEXする場面にぶち当たることがあり得るのに……」

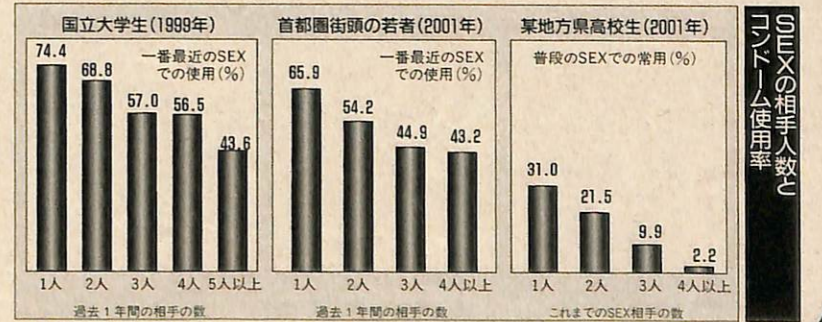
いんですよ。この業界は女優のほうが立場が上なので、こちらとしても強く言えない（生・中出しのシリーズ作品を販売するメーカー担当者）

本当にお寒い状況なのは風俗業界かもしれない。検査を謳っているソープでさえ、

「2週に1回の性病検査と月1回の血液検査をすることになっていますが、お店が紹介する病院がすごくいい加減。数日かかるはずの検査結果が当日出てくるし、検査料もまたもな病院の半額以下。結果はすべて陰性だし、保険証も不要。検査ナシでビルもくれる。だからみんなそこに行く」（吉原のソープ嬢）

実際、「アソコが変」と自覚症状を話していたコすら「何もないうって」と言って帰ってくる。それで、話してくれたソープ嬢は、自腹で別の病院に検査を受けにいっているという。

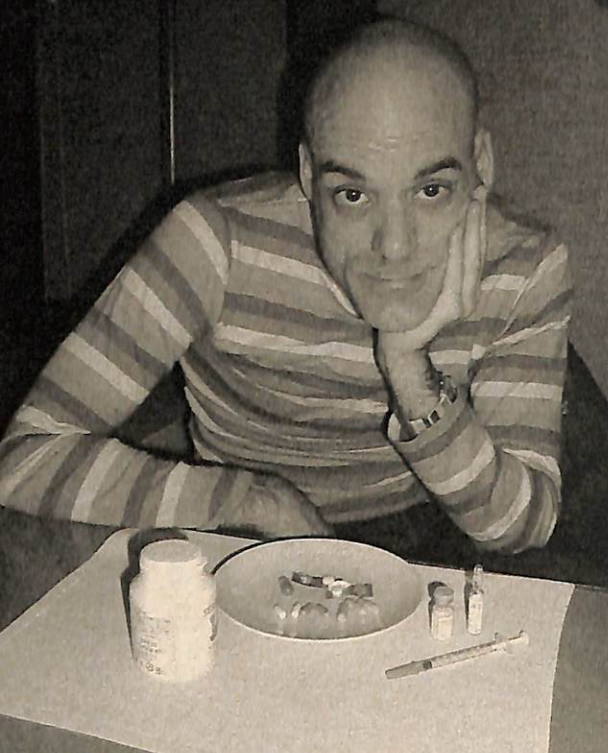
怖いのは本番サビスのないはずのヘルスやイメクラ。あるイメクラ嬢は「酔っぱらったお客さんはなかなかイカないから生本番でイカせる」という。しかもそういうコが多いというのだ。もちろん、彼女たちは検査などしていないが、「ワタシは大丈夫」と口を揃える。自分の体への無頓着ぶり、あるいは意味自殺行為なのでは……



HIVの基礎知識 以下の質問は正しいと思いますか？ 間違っていると思いますか？

- Q1 HIVとAIDSは違う病気である
- Q2 HIVは血液中にしか存在せず、体液には含まれていない
- Q3 アナルSEXなどアブノーマルなSEXをしなればHIVには感染しない
- Q4 中出ししなければHIVには感染しない
- Q5 HIVやAIDSは、薬で治る病気である
- Q6 性感染症にかかっていることと、HIVに感染することは無関係である
- Q7 HIVの感染者は、外国では増えているが、日本では減少傾向にある

正解は、すべて「間違っている」。「HIVとAIDSは違う病気である」を「正しい」と答えた人は31%、HIVと性感染症にかかわりがあることを知らない人が36%もいた。年齢が高いほど、正確率も上がった



バトが現在飲んでいるのはHIVの薬が3種類、アレルギーを抑える薬、抗生物質、栄養剤。さらに、喘息の予防薬（吸入）、HIVによる体重減少のための成長ホルモン（注射）が加わる。医療費は全額助成

年に1回ポスターを貼ることが 本場に予防啓発になるのか?

エイズキャンペーン やポスターを一度も 見たことがない ……高校生65%

HIV/AIDSの予防・啓発というポスターくらいしか思い浮かばないが、それなのにこの結果、全体では「見たことがある」が48%に及んだが、「見たけど、意識や考えは何も変わらなかった」と答えた人が過半数以上。中には「HIV/AIDSは薬でちゃんと治る病気だ」ということがわかった」と、間違った知識を持ってしまった人も……。

厚生労働省

HIV/AIDSに関する国策の要を握る同省。今回コメントをもらったのは、エイズ研究対策事業を担う健康局疾病対策課の課長 補佐・田中剛氏。

「逆に言うと、全体では2人に1人、半分近くの人が見てくれているということですね」

しかし、見た人の過半数以上が「意識や考えに変化なし」で……。「知識を得ること、行動変容をもたらすことは別で、ポスターの主な目的は後者です。ポスターを1回見ただけでは行動は変わりませぬから、繰り返しやっていくこと

12月1日は世界エイズデー “エイズ”知ろう、話そう、予防しよう”



今年の「世界エイズデー」キャンペーンポスター。応募総数1136点の中から、都内中学生2年生の作品が最優秀賞に選ばれた

HIV感染者増加は国庫を圧迫する。そしてそのツケはボクらに

ここまで読んでくると、やっぱりHIVは遠い世界だと思いかもしれない。しかし、関係ないと思える人に直結するのは税金の問題だ。例えば、医療費が高いといわれる癌でも年間の医療費は150万円。しかしHIV/AIDSは年間270万円かかるのだ。今年6月末までにHIV/AIDSは累計8349人。この人たちが全員治療を受けたとすれば、年間約225億円の医療費がかかる。もしHIV/AIDSが5万人になったら医療費は年間1350億円。

「障害者に認定されれば医療費が助成されますが、都道府県によって助成額が違います。東京都では所得にして354万円未満で医療費助成が受けられます。今後助成割合が低くなって個人負担が増えたら、感染しても治療を受けられない人が出るだろうし、患者さんの負担を軽くすると、国の負担が大きくなる」(前出・山元氏)

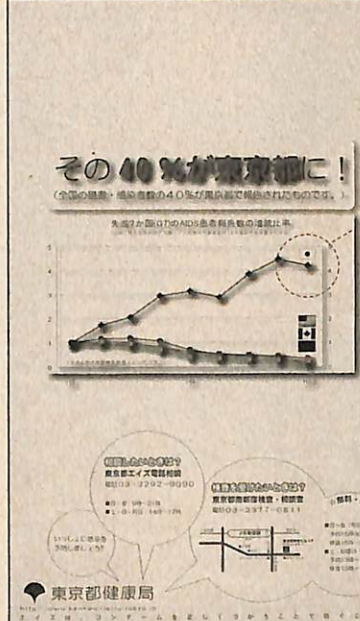
たださえ健康保険制度の破綻が危惧され、4割個人負担も遠くないといわれているのに、医療費の高いHIV/AIDSがこのまま増え続けたら確実に健保は破綻する。いざ病気になることも個人保険に入っている金持ちしか、病院にかかれないという時代が来るかもしれない。

さらに、爆発感染が起こったとしたら、感染者は十分な医療サービスを受けられない可能性が高い。

エイズ予防財団

厚労省の外郭団体として、予防啓発活動の中心的な存在であるエイズ予防財団。12月1日の「世界エイズデー」キャンペーンには、毎年厚労省と共にポスターを作成。今年のテーマは「エイズ」知ろう、話そう、予防しよう。で、小・中・高校と一般の4部門でコンクールを行い、その中から選出している。「マスコミがこぞ取り上げてくれた時期から比べると、一般の方がHIV/AIDSという言葉を耳にする機会は少なくなったと思います。そういった状況から考えると、アンケートの結果はしょうがない、事実でしょう。個人的には、見た人の割合は、決して少

日本でエイズが増え続けていることを ご存知ですか?



東京都の予防啓発用ポスター。東京都の報告数が多いのは、在住者だけでなく在勤者や、地方から検査を受けにくる人が多いため

東京都

東京都が作るポスターは2種類、①予防月間用(11月16日〜12月15日の1か月間)、②年間を通じて繁華街にある居酒屋やバーなどに配布する予防啓発用。前者はタレントをイメージキャラクターに起用して、今年はK-1の魔装斗。刷り部数は3万部。後者は左の写真で、刷り部数は1500部だ。

「このアンケート結果は、非常に厳しい指摘として、真摯に受け止めたいと思います」と言うのは、健康局医療サービス部エイズ対策担当の飯田真美氏。

「いかに若い人たちの関心が低い

メディアのHIV報道に責任はないのか? 自戒を込め検証する

日本で最初にHIVが報道されたのは85年、アメリカでの話題として紹介された。その後86年、松本の風俗店で働いていたフィリピン女性が帰国後の検査でHIV陽性と出た。ことをきっかけにエイズパニックが起こる。翌87年には、神戸の風俗店で働いていた女性を日本初の患者と厚生省が認定したため、神戸エイズパニックが起こる。週刊誌は女性患者の実名や顔写真を報道し、葬式にまで押し寄せた。非常識な騒ぎとなった。

その後90年代後半に入ると、パニックはなを潜めたが、治療薬の開発に伴い、「エイズ特効薬登場」、「エイズは治る!」など間違った情報が流れ、HIV/AIDSは過去のものになってしまった。

2000年になってからのHIV/AIDSの記事を、雑誌の図書館「大宅文庫」で検索したところ、毎週あったパトリックの連載を除くと、月に1、2回報道されるくらい。

SPA!では、HIV/AIDSは終わった問題ではないという認識から、ほぼ毎年特集を組んできた。しかし、自戒も込めて、やはりメディアにも責任があることは確かだ。

そこで、10年続けてきたパトリックの連載を、年に数回という体裁に改め、海外レポートを入れながら、HIV/AIDSの問題に特化してお届けしたい。カンボジアやタイなどHIV予防に成功した国の手法や、日本のHIV教育、HIV予算の使い方など順次特集していく。しつこいようだが、HIVは「今そこにある危機」なのだ。

エリザベス

魅惑のランジェリーショップ

オリジナル女性アイテムから
コスチューム、ランジェリー
など充実のラインナップ

- <新宿店> 新宿区百人町2-6-7
☎03(5386)5508
 - <浅草橋店> 台東区浅草橋1-24-8
☎03(5835)1855
 - <日暮里店> 荒川区西日暮里2-21-7第2ムサンビル103
☎03(3891)7706
 - <名古屋店> 名古屋市中村区則武1-13-15東栄ビル2F
☎052(452)1731
 - <大阪店> 大阪市浪速区元町1-11-5
☎06(6633)3993
- ホームページアドレス <http://www.elizabeth.co.jp/>



厚労省の「世界エイズデー」キャンペーンの一環として11月26日から12月1日まで都内を走った、エイズラッピングカー(写真提供/アドカード)